

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	母性看護学概論	1単位	30	2年次	4月	深水素子
授業概要 母性看護学の対象についての理解を深め、母性看護の基礎的な知識となる内容を学ぶ。また、性と生殖の看護の機能と役割を理解し、ライフサイクルに合わせた健康の保持増進のための支援や保健活動に必要な知識を身につけるために設定する。さらに学習を通して、生命の神秘や尊厳、結婚や家族への認識を深め、学生自身が母性・父性に対する意識を高めることをねらいとして設定する。						
到達目標 1. 母性の基礎となる概念について、母性看護を必要とする対象の特徴およびその母性看護独自の特徴について理解する 2. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状について理解し、母性看護の課題や役割を考えることができる 3. 母性看護の対象および女性のライフサイクル各期の特徴と健康問題について理解できる 4. リプロダクティブヘルスの考え方をもとに、女性の生涯を通じた健康の保持・増進と看護について理解できる						
使用教材 テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学①, 2018, 第13版: 医学書院						
評価 筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
12時間・6回	1.母性看護の基盤となる概念 1)母性とは 2)母子関係と家族発達 3)セクシュアリティ (人間の性) 4)リプロダクティブヘルス/ライツ 5)ヘルスプロモーション 6)母性看護のあり方 7)母性看護における倫理 (1)プライバシーの保護 (2)自己決定の尊重 (3)人工妊娠中絶と倫理的課題 (4)生殖補助医療と倫理的課題 (5)出生前診断と倫理的課題 8)母性看護における安全・事故防止 2.母性看護の対象 1)女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
専門分野Ⅱ	母性看護学概論	1 単位	30	2 年次	4 月	深水素子
時間・回数	授業内容					方法
	(1)生殖器の形態・機能 (2)妊娠と胎児の性分化 2)女性のライフサイクルと家族 3)母性の発達・成熟・継承 (1)セックス、ジェンダー (2)性の多様性（性同一性障害、性分化疾患、LGBT） (3)母性、父性、親性の発達 (4)母子関係と愛着 (5)母性の世代間伝達					
6 時間・3 回	3.母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 1)母性看護の歴史的変遷と現状 (1)母性看護の変遷 (2)母子保健統計の動向 （出生、新生児・乳児・周産期死亡、妊産婦死亡、死産・流産・人工妊娠中絶に関する統計） (3)母子保健に関連する法律と施策 （DV 防止法、性暴力被害者支援、虐待防止に関する法律、母体保護法、女性の就労に関する法律） 2)母性看護の対象を取り巻く環境 （家族、地域社会、生物学的環境、社会文化的環境）					
11 時間・6 回	4.女性のライフサイクル各期における看護 1)ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性 2)思春期の健康と看護 3)成熟期の健康と看護 4)更年期の健康と看護 5)老年期の健康と看護 5.リプロダクティブヘルスケア 1)家族計画 2)性感染症とその予防 3)人工妊娠中絶と看護 4)性暴力を受けた女性に対する看護 5)児童虐待と看護					
1 時間・1 回	筆記試験					
備考						